



# 学校だより

平成31年4月11日

調布市立調布中学校

校長 平岡 盛仁

電話 042-482-0275

平成最後を飾るにふさわしく、桜の花が二週間もの間、咲き誇っています。調布中の桜並木も、新年度の進級した生徒たちの登校する姿を待ち望んでいるようです。

4月8日（月）、平成31年度の始業式が行われました。生徒の明るく元気のある笑い声が学校中に響き渡っています。学校が新たな時代に向けて一歩を踏み出しました。

始業式では、充実した一年間を過ごすために、目標を持ち、その目標に向かって計画的に過ごすことが大切であるという話をしました。この一年間が生徒にとって充実した一年間になることを祈っています。



## 196名の生徒が入学しました

平成31年4月9日（火）、第73回入学式が挙行されました。196名の生徒が入学しました。

満開の桜が、まるで新入生の入学を心待ちにしているようでした。式では新入生呼名に対する返事が立派で、2・3年生の歓迎の歌も素晴らしく、調布中学校の前途を祝しているかのようでした。

式辞（抜粋）

校長 平岡 盛仁

中学校での3年間は、皆さんのこれからの長い人生の基礎となり、生きる原動力となることを学ぶ大切な3年間です。そこで、スタートにあたり、私から四つのお願いをします。

一つ目は、「自ら学び深く考える人」になって欲しいということです。

中学生になると、自分で判断し実行しなければならぬ場面が増えてきます。それだけ自分の責任が重くなってきます。問題や課題に直面したときには、どのようにすれば解決するのか、もしこのように行動すれば、結果はどうなるのかというところまで深く考えて実行できる生徒になって欲しいと思います。そして、考えても自分の力ではどうすることもできないと思ったときには、周りにいる大人に相談してください。相談するということは、自分で解決できなかったということではなく、深く考えた結果相談したのだから、これも深く考えて実行したということになるのです。これから始まる中学校生活の中で、まずは、自分で学び実行してみましょう。そして、解決がどうしてもできないときには、遠慮無く周りにいる大人に相談をしてください。決して一人で悩み、抱え込む事はしないで下さい。

二つ目は、「身体を鍛えたくましく生きる人」になって欲しいということです。

どんなに勉強ができて、どんなに部活動での技術が優れていても、健康でなければ、なにもできません。また、困難な事に出くわしたときに、すぐに「もうだめだ」と思うのではなく、「なんとかこの状況を乗り越えよう」という強い心を持って欲しいということです。

皆さんが社会に出ていく頃には、科学技術が発展し今とはだいぶ違う世の中になっているかも知れません。人工知能が発達し皆さんが就く職業もだいぶ変わってくると言われております。しかしそのような状況であっても、たくましく生きていって欲しいのです。そのためにも身体を鍛え強い体と強い精神力を身に付けて欲しいと思います。

三つ目は、「礼儀正しく思いやりの心をもった人」になって欲しいということです。

人と人とのコミュニケーションが重要となってくる社会に於いては、人に対する礼儀や、人を思いやる気持ち、人に対する心遣いが大切となってきます。他人のことを考えられず、自己中心的な人は、これから大人になっていく社会の中では、通用しなくなります。

皆さんが、社会に出て立派に通用する為にも、他人に対する礼儀や思いやりをしっかりと身に付けて欲しいと思います。

四つ目は、「勤労を重んじ進んで奉仕できる人」になって欲しいということです。

働くことの意義や重要性、大変さは、中学校のキャリア教育の中でこれから学んでいくことです。またボランティアの精神も、オリンピック・パラリンピック教育や生徒会のクリーン作戦などで学んでいくことができます。

これからの社会に求められている人とは、しっかりと働き自立ができ、そして自分のことばかりでなく、自分のできる範囲でボランティアを行うことができる、社会に貢献する人なのです。ぜひこのような人になって欲しいと思います。

以上、「自ら学び深く考える人」、「身体を鍛えたくましく生きる人」、「礼儀正しく思いやりの心を持つ人」、「勤労を重んじ進んで奉仕しようとする人」の四つ、実はこれは調布中学校の教育目標なのですが、この目標を忘れずに、中学校生活を有意義なものにしてください。

### 歓迎の言葉（抜粋） \* \* \* \*

中学校では、「自主自立」が大切です。自主自立とは、「自分で考えて行動すること」です。行事や委員会が行う企画なども、生徒が中心となって進めていきます。一人一人が今何をすべきかを考え、自分の行動に責任を持ち、過ごしていきましょう。

また、中学校では、勉強が本格的になります。英語や数学、美術など、名前が変わったり、新しい教科が始まったりします。さらに、テストの行い方も変わります。小学校では、単元が終わるごとにテストを行っていましたが、中学校では年四回「定期考査」というものが行われます。

さて、ここまでの私の話を聞いて、「中学生って大変そう・・・」と思った人もいると思います。私も2年前は不安でいっぱいでした。もちろん大変なこともあります。今は充実していて楽しいです。

体育祭、音楽祭、スキー教室などの行事は、とても盛り上がります。楽しみにしてください。

また、中学校には「部活動」があります。調布中には多くの部活動があり、たくさんの生徒が仲間とともに目標に向かって日々練習に取り組んでいます。加入するかは、自分の選択ですが、新入生の皆さんもぜひ、自分が夢中になれる部活動を見つけられるとよいと思います。

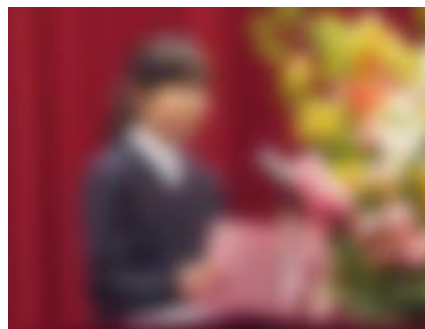
中学校は3年間しかありません。小学校の半分の3年間という時間は、皆さんが思っているよりあっという間です。ただなんとなく過ごすのではなく、目標を持ち、たくさんのことを学び、経験して、実りある3年間にしてください。時には悩んだり、失敗したりすることもあるでしょう。そんなときは、私たち先輩や仲間を頼ってください。共に励ましあい、高めあいながら、楽しく充実した中学校生活を送っていきましょう。

### 誓いの言葉（抜粋） \* \* \* \*

私はこれから送る調布中学校での生活で、新しい挑戦をたくさんすることにとってもわくわくしています。

まず、小学校にはなかった「部活」に入ることです。同じ目標をもつ仲間、同じ趣味を持っている仲間と一緒に活動に励むことがとても楽しみです。また、その部活を通して、クラスや学年の枠を越えて、交流することができるため、たくさんの人と仲良くなれるきっかけになると期待しています。だから、私は、色々な人と話して、友達の輪を広げ、共に努力することを大切にしていきたいです。

もちろん、中学校では、楽しいことだけではなく、大変なことも増えると思います。その一つが勉強です。



新しく英語や数学が加わり、初めて見る問題もたくさん増えると思います。しかし、小学校でしてきたように、新しいことにも挑戦し、努力する気持ちがあれば、必ず身につくと思います。だからこそ私は、新しい学習を難しいと考えすぎず、しっかりと授業を聞いて、新しいことが身についていくことをむしろ楽しみながら、学習に取り組んでいきたいです。

これから始まる中学校生活は、私たち一年生にとって、初めてのことがいっぱい、分からないことも多いと思います。しかし、私は、この調布中学校での一つ一つの出来事や発見を大切に、いずれはこの学校を支える一員になりたいと思っています。そのために、期待やわくわくを頑張る気持ちに変えて、先輩や先生の力を借りたり、友達と協力し合ったりしながら、一生懸命生活していきたいです。

## 全校生徒591名で、平成31年度がスタートしました！

1年	1-1	1-2	1-3	1-4	1-5	1-6	1-7	合計
男子	17	18	18	17	18	18	6	112
女子	14	14	13	14	13	14	2	84
合計	31	32	31	31	31	32	8	196
2年	2-1	2-2	2-3	2-4	2-5		2-7	合計
男子	21	21	21	21	21		10	115
女子	16	16	17	17	17		3	86
合計	37	37	38	38	38		13	201
3年	3-1	3-2	3-3	3-4	3-5		3-7	合計
男子	19	20	19	20	19		7	104
女子	18	17	18	17	18		2	90
合計	37	37	37	37	37		9	194